



Rekitomo Newsletter

矢澤館長と友の会事務局Dが選んだ

2014 年度歴博の出来事 **ベスト 10**



※この1年を振り返り、印象に残った出来事をわかりやすく伝えるために敢えてランキング形式にしました。あくまでも2人の個人的な見解です。各コメントについては、事務局Dが付しました。



親鸞となむの大地展 おかげさまで3万人達成！



3年にわたる準備の末、2014年春に開催された特別展「親鸞となむの大地」。前売り券の販売実績を含め、3万人以上の方に御利用いただきました。

本展を担当したのは中世史を専門とする学芸課の前嶋敏主任研究員。その前嶋研究員は、2007年の風林火山展、2009年の天地人展など、数々のヒット作を生み出し、歴史博物館の難局を救ってきました。次回担当する展覧会にも期待が高まります。

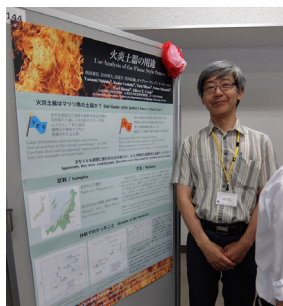


中学生ボランティアがデビュー！

地元、関原中学校3年生の3名が、中学生ボランティアとして今夏デビューしました。常設展示「縄文人の世界」を中心に、観覧者への展示解説を実施。この事業を企画した森山義紀専門研究員（中学教員籍）の事前説明を受けた成果も発揮され、とてもわかりやすい解説と好評でした。この中から将来の歴史博物館を担う研究員が誕生する!?。そんな日が来ることを夢見ています。



西田学芸課長が学会賞を受賞！



2014年7月に開催された日本文化財科学会第31回大会のポスターセッションにおいて、西田泰民学芸課長の研究グループがポスター賞を受賞しました。タイトルは「火炎土器の用途分析」。

2013年の英科学雑誌ネイチャーへの掲載に続く快挙。西田学芸課長の勢いはもう誰にも止められません。

さて、西田学芸課長に続いて世界に羽ばたき活躍するのは誰か!? 今後も研究員の活動に注目しましょう。

4

大盛況の友の会行事

友の会カフェ利用者 54 名、コカリナ・コンサート参加者 93 名、「李藝」映画上映会参加者 171 名（右写真）など、今年も大勢の方々に友の会行事にご参加いただきました。

新年度以降も、友の会として意義のある充実した活動を展開していきたいと思います。



5

サイノカミ 15 年目の炎

関原サイノカミ有志会のご協力のもと、今年で 15 回目となったサイノカミ。今年の炎は、天に向かって真っすぐと、勢いよく燃え上がりました。サイノカミとともに歩んできた歴史博物館も、今年開館 15 周年を迎えます。途中で燃え尽きそうなときは、会員皆様の御支援をお願いします。



6

矢澤新館長の就任

お堅いイメージの元銀行マンが新館長として着任すると発表されたとき、事務室内に激震が走りました。しかし、予想に反して気さくな新館長でした。長岡まつりの体験イベントにも赤いタオル鉢巻き姿で登場するなど（右写真）、とにかく現場をよく観察しています。



7

SNS の本格運用を開始

2014 年度は Facebook と twitter の本格的な運用を開始した年でもありました。友の会の活動のほか、研究員の活動や博物館の舞台裏にも鋭く切り込み、広く情報発信しています。

また、このような SNS 利用者を対象に、歌麿展では WEB 内覧会という新しい試みも実施しました（右写真）。



8

三国研究員を新採用

2014 年 10 月、学芸課のスタッフとして三国信一主任研究員が新たに採用されました。専門は民俗学。学問に対する情熱と細身の体形もあってか、着任早々から県内各地を調査で飛び回っています。三国研究員の新年度講座も面白そうなテーマです。



9

火焰土器を販売

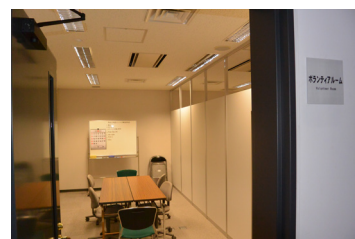
友の会分科会として毎月活動している「長岡土器造り同好会」の皆さん。その会員の製作による火焰土器の販売を館内ショップで始めました。昨年は「火焰型土器を 2020 年東京オリンピック・パラリンピックの聖火台に」のアピール宣言も行われ、今後はさらに人気が高まりそうなアイテムです。



10

ボランティアルームの開設

2015 年 3 月にボランティアルームを開設しました。主にボランティアの打ち合わせや休憩場所として使用しています。今後は友の会のグループ活動など、幅広くご活用いただきたいと思います。歴史博物館への最後のプレゼントとして、開設にご尽力いただいた佐藤康雄経営企画課長には感謝申し上げます。



研究活動
紹介

発掘こぼれ話

参事（にぎわい創出担当） 鈴木 俊成



村上市西部遺跡では古代の鍛冶を中心とする複数の大型工房跡や磐舟柵関連の漆紙文書、県内初となる条里型水田などが検出され、大化4（646）年に設置された^{注1}磐舟柵^{注2}『日本書紀』およびその後の古代磐舟郡の様子を知る上で大変注目されている遺跡です。今回はその中でも検出に大変な苦勞と混乱があった条里型水田について、発見の経緯を中心に紹介します。

西部遺跡の本格的調査は2004～2008年ですが、事前の確認調査では、一つの試掘坑から古代の土器が200点以上も出土するなど、集落が埋まっているのではないかと考えていました。しかし、本調査では、集落を構成する建物や井戸といった遺構は見つからず、ただ、細かく砕けた土器が調査区に濃淡があるものの散発的に出土するのみでした。

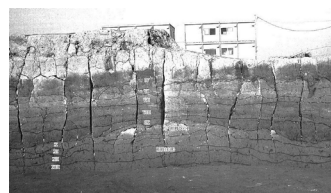
「土器に関係する遺構が必ずあるはずだ」調査員はこれを念頭に、層位ごとに遺構の検出に努めましたが、依然として遺構は見つからず、遺物の出土位置を記録する日々が数ヶ月続きました。これ以上成果がない場合は、調査終了時期を大幅に前倒しすることも考え始めた頃、遺物の位置図を見て愕然としました。なんと、遺物は不明瞭ながら南北方向に帯状に分布していたのです。あわてて隣接地の図面も繋ぎ合わせ調査区全体を見てみると、帯状の分布はほかに東西方向で1本確認できました。

「これは何か（遺構）きっとある」帯は幅40m強の調査区外にも伸びていくほど長大で、これに該当する遺構として屋敷地を囲む区画溝や水田畦畔などが思い当たりましたが、屋敷地関連の遺構（例えば建物・溝・井戸など）は前述のとおり見つかっておらず、残る後者の可能性を追求することになりました。

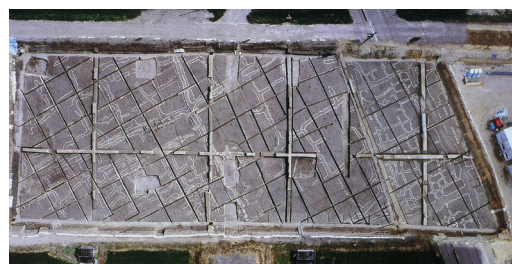
「帯状の分布が水田畦畔を示すなら、必ずや土層断面に畦畔の高まりが残っているはず」まず、調査区境の土壁や部分的に残っていた堆積土観察用の土層帯を草刈り鎌で徹底的に削り直し、土層の高まりがないか調べました。この作業によって分布帯の延長線上の土層に幅60cm前後の高まり（20cm）がようやく確認でき、一帯が水田であった可能性が高まりました。しかし、時すでに遅く、この時点で本来調査対象にしなければならない水田面及び水田耕作土のほとんどが既に無く、調査がほとんどできない状態だったのです。「残念、気付くのが遅すぎた」。結局、この年の調査は部分的に残っていた土層と出土遺物のわずかな情報をもとに、「可能な限り水田を復元する」ことになったのです。

この苦い経験は次年度以降の調査に活かされました。水田軸に合わせ、東西南北に幅30cmの土層観察用トレンチを6mごとに基盤目状に入れるという前例の少ない調査の開始です。平面（水田区画）と堆積土（畦畔位置）の関係を常に注視しながら調査するためでした。その結果、約55m（半町）間隔にほぼ南北・東西方向に走る大きな畦畔と、その中を中小の畦畔が細かく区画している様子を見事に掘りだすことができたのです。

発掘調査では、遺跡の性格解明のため調査方法の修正が求められる場面が多々あります。西部遺跡の場合も混乱の後、軌道修正の過程を踏んで県内初となる条里型水田発見に繋がったのです。



畦畔の高まり

検出された条里型水田（新潟県教育委員会 2009）
^{注3}

注1）妙高市栗原遺跡で南北方向に伸びる畦が見つかったが、区画は検出できていない。ほかに地籍図などを活用して地図上で条里区画を復元したものがある。

注2）条里の基本単位は約109m（一町）四方の正方形で、一般的には東西南北を基軸とする土地区画、従来、班田収授制（飛鳥時代、奈良時代初期）に伴い施行されたと考えられていましたが、条里呼称を示す絵図や文書、各地の発掘調査から8世紀中葉頃（墾田永年私財法743年が関係か）から整備されたとする説が現在有力。

注3）新潟県教育委員会2009「新潟県埋蔵文化財調査報告書第194集 西部遺跡Ⅳ・桜林遺跡Ⅲ」

まじないに関する情報提供のお願い

現在、浅井勝利専門研究員を代表とする研究グループが「越後佐渡における呪符の総合的研究」を進めています。

県内の博物館や資料館の収藏品以外で、「蘇民将来」「急々如律令」「呪」などと書かれた木製や紙製の札をご所蔵の方、あるいは情報をお持ちの方は浅井研究員までご連絡ください。研究員の調査研究活動にご協力をお願いします。



退職職員の紹介

このたびの人事異動により、3名の職員が歴史博物館を去ることになりました。とくに佐藤康雄経営企画課長には、3年間にわたり友の会事務局長をお引き受けいただきました。

3名の方々には、新天地で活躍いただくとともに、引き続き歴史博物館並びに友の会をご支援いただきたいと思います。

鈴木俊成参事（にぎわい創出担当）
→財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団調査課長へ

【経営企画課】
佐藤康雄経営企画課長
→聖籠町立図書館長へ

鳥島泰浩主任研究員
→見附市立見附中学校へ



事務局からのお知らせ

2月26日に2014年度第2回友の会理事会を開催し、新年度の事業計画を協議しました。取り急ぎ上半期の主な行事をお知らせします。同封のイベント案内もあわせてご覧ください。

研修旅行

浅井研究員とめぐる
ロマンの旅

5月23日(土)

会費 7,500円前後の予定

「ロマン」をキーワードに、春季企画展「大正ロマン昭和モダン展」や夏季特別展「北前船展」と関連する施設、近年話題となった県内の古墳を巡ります。浅井研究員及び事務局が同行します。

訪問先 牡丹山古墳、城の山古墳、奥山荘歴史館、桃崎浜文化財収蔵庫、落谷虹児記念館などを予定

※詳細については改めて
後日ご案内します。

※いずれも要申込み
電話・FAX・郵便・メールまたは
博物館受付にて

ミュージアム・
コンサート

5月30日(土)

13時30分～14時30分
歴史博物館講堂（定員150名）

友の会の共催で「春に聴く ソプラノとチェンバロの調べ～明治レトロ、大正ロマン、昭和モダンそして夢」と題するコンサートを開催します。

出演
横田 聡子 氏（ソプラノ）
笠原 恒則 氏（チェンバロ）

※いずれも要申込み
電話・FAX・郵便・メールまたは
博物館受付にて

博物館整備事業

芝刈り

6月27日、7月25日、
8月29日、10月3日朝6時～（1時間30分程度）
歴史博物館職員駐車場集合

平成25年度から博物館整備事業としてはじめた芝刈りの収益は、友の会の事業・運営費にあてられています。平成26年度は約22万円の純収入があり、会費の値下げや事業の拡大を図ることができました。
晴天の青空の下、歴史博物館の芝生広場で楽しく作業をしてみてはどうですか。

目標としていた2014年度4回目の会報を無事に発行することができました。編集が遅れ、皆様のお手元に届くのが新年度になってしまったことを、紙面を借りてお詫び申し上げます。

本号ではベスト10というかたちでこの1年を振り返りましたが、歴史博物館では企画展以外にも多様な取り組みを実施していることを少しでもご理解いただき、多くの会員の皆様に歴史博物館を積極的にご利用いただきたいと思います。

ちなみに、個人的には事務局Yから事務局Dへの交代劇が2014年度の第1位の出来事でした。

4月 April							5月 May							6月 June						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
5	6	7	8	9	10	11	3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13
12	13	14	15	16	17	18	10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20
19	20	21	22	23	24	25	17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27
26	27	28	29	30			24	25	26	27	28	29	30	28	29	30				

（ ）は開館日 □は休館日 ■は企画展開催日 5/17日「国際博物館の日」記念無料日

新潟県立歴史博物館友の会会報 No.6

平成27年3月31日発行

【事務局】 新潟県立歴史博物館 経営企画課内

〒940-2035 新潟県長岡市関原町1丁目字権現堂2247番2

TEL 0258-47-6135 FAX 0258-47-6136 E-mail reki_tomo2014@yahoo.co.jp